どんな子も幸せにする
これからの音楽授業

～デジタル活用の視点から～

戸田市立戸田第一小学校　小梨貴弘

どんな子も幸せにするこれからの音楽授業

デジタル活用の視点から（戸田第一小学校　小梨貴弘）

Part 1　コロナとGIGAスクール構想で進化した音楽授業
～「災い転じて福と成す」学習活動の強制停止で再定義された「音楽の学び方」～

Part 2　バーチャル楽器アプリでどこでもお手軽楽器練習
～タブレット端末が楽器に変身！吹くの禁止、数が足りないも何とかする～

Part 3　学習者の演奏技能に依存しない音楽創作活動の実現
～学習者が演奏技能にとらわれず、音楽づくりの楽しさ、面白さを味わうために～

Part 4　学習者のニーズに応じた音楽鑑賞活動の実現
～主体的に音楽を聴き、感じ取り方の多様性から学ぶ～

Part 5　音楽嫌いを生む「実技テスト」からの脱却
～一人一台端末だからできる、みんな一緒の「ひとり演奏記録」～

どんな子も幸せにするこれからの音楽授業
～デジタル活用の視点から～

Part Ⅰ

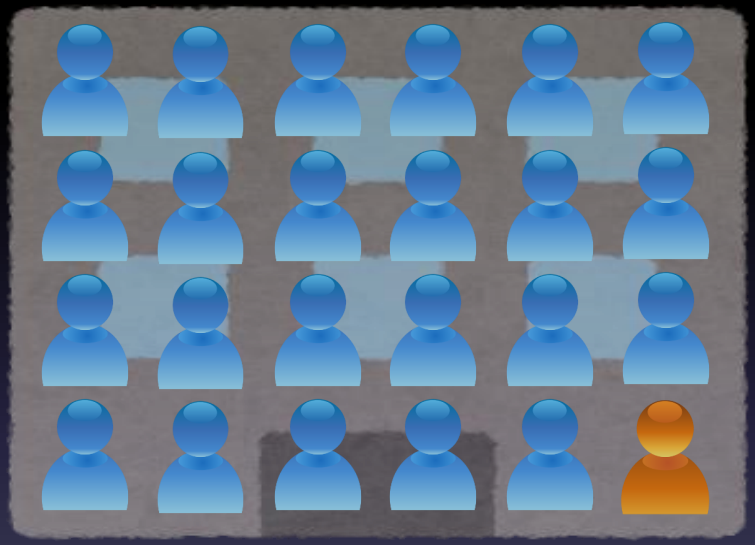
コロナとGIGAスクール構想で進化した音楽授業

～学習活動の強制停止で再定義された「音楽の学び方」～

コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

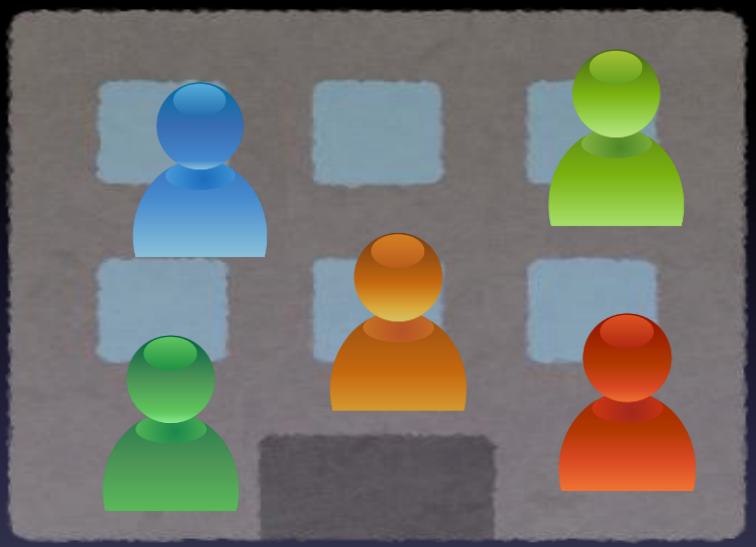
従来の学校教育と音楽科の役割

高度成長期に求められた人材



社会や組織の一員として、
協調しながらどう働けるか

これから求められる人材

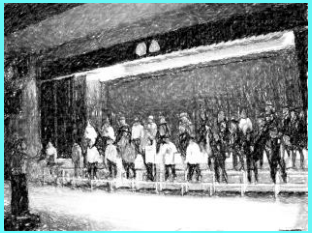


限られた人、時間、物の中
でどう個性を発揮できるか

「協働的な学び」と共に「個別最適な学び」が重視

コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

従来の学校教育と音楽科の役割

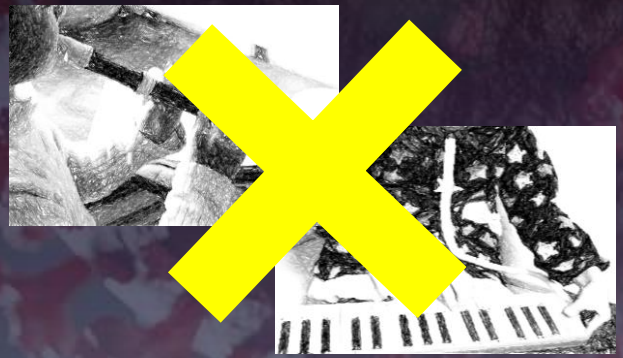


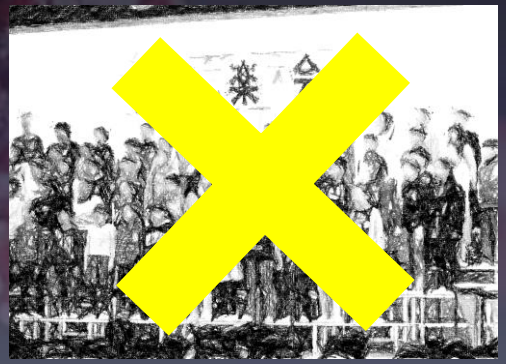
音楽…学校全体の協働的な学びの中核を担う

集団での学びの成果を重んじるあまり個の学びへの配慮が足りない傾向も…

きめ細やかな指導が行われず「音楽嫌い」のまま学びを終える子供が一定数いた

コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～





学校の音楽授業は経験したことのない窮地に立たされる

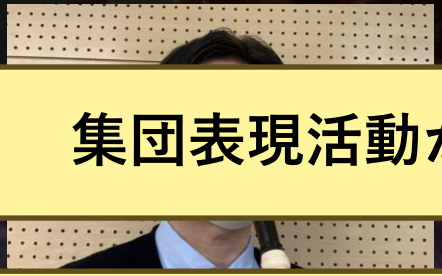
コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

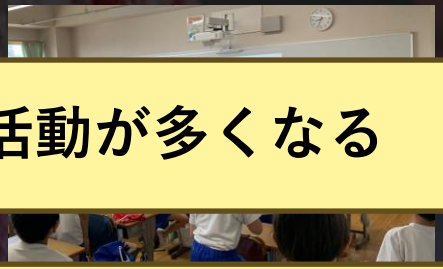
感染リスクの少ない学習方法の模索

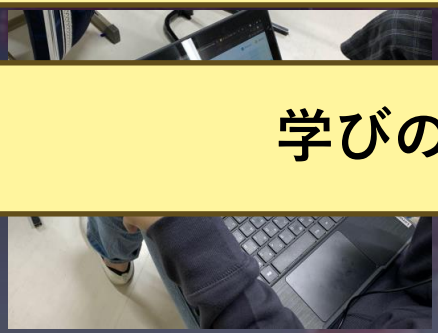
集団表現活動が難しい→個人活動が多くなる

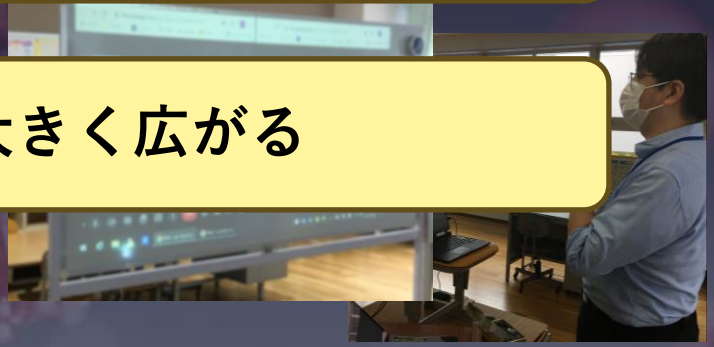
ＩＣＴ機器を積極的に活用するようになる

学びの選択肢が大きく広がる









GIGA端末を活用した学習活動

オンライン授業

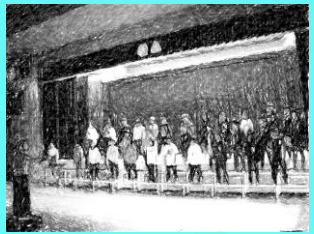
コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

１人に１台タブレット端末を貸与

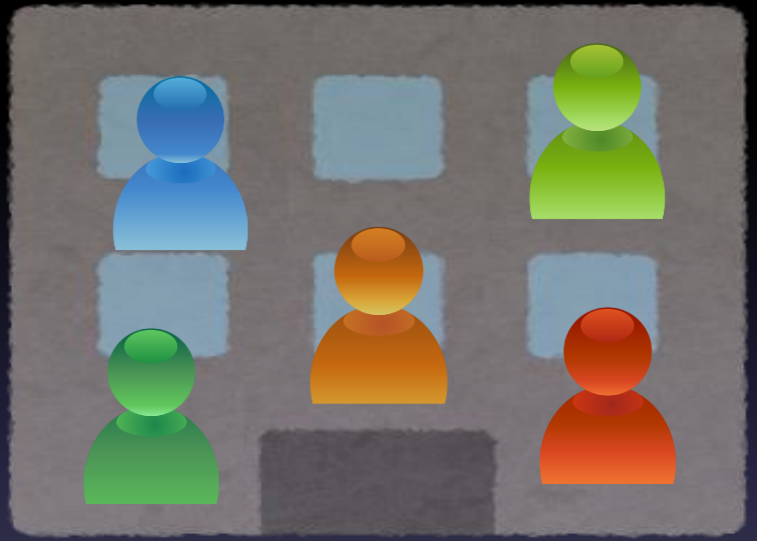
音楽授業の継続に大きく貢献してきた

コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

１人に１台タブレット端末を貸与



協働的な学び



コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

１人に１台タブレット端末を貸与

協働的な学び

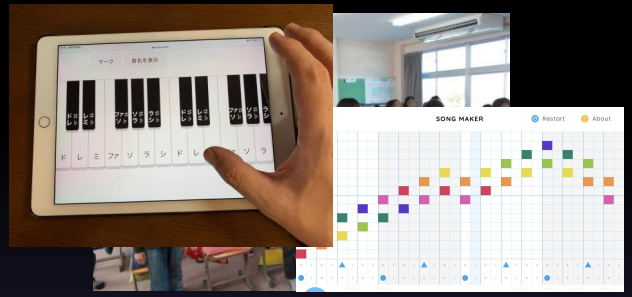
＋

個別最適な学び

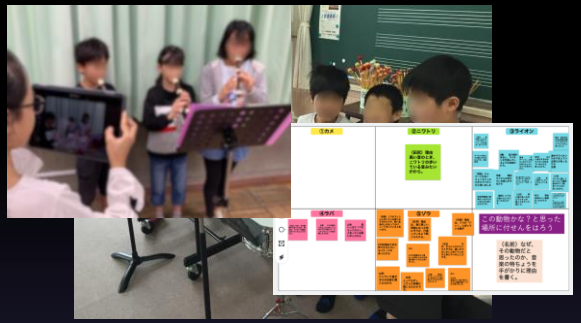
ＩＣＴ活用で、教科全体の学びの質の向上を図る

コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

音楽の「本質」に迫る学びの目的には、何ら変わりはない



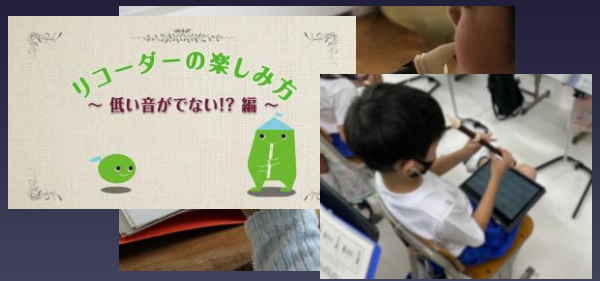
アナログ&デジタル楽器に親しむ
歌声や楽器の音色に親しむ
学びの選択肢の拡大



協働的に音楽を学ぶ・演奏する
演奏記録のアイコンドラマ
言語活動の促進

音楽をより
学びやすく
する

様々な音楽を用いた
1人1台端末を用いた
個別最適な学びの促進



音楽の仕組みや演奏方法を理解する
学びの仕組みや演奏方法を理解する
学習の効率化

コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

音楽の「本質」に迫る学びの目的には、何ら変わりはない

歌声や楽器の音色に親しむ

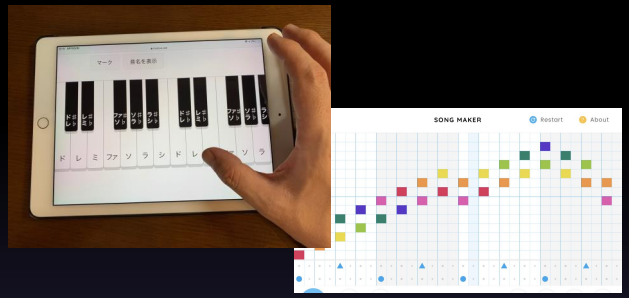
協働的に音楽を学ぶ・演奏する

様々な音楽と出合う

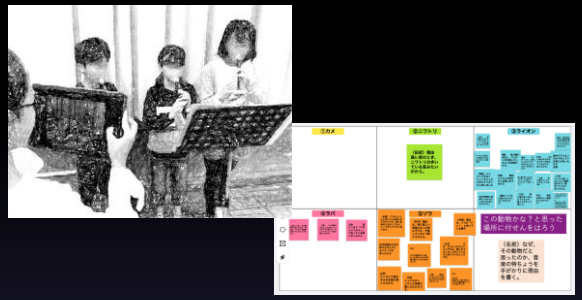
音楽の仕組みや演奏方法を理解する

コロナ・GIGAで進化した音楽授業　～「青天の霹靂」からの挑戦～

音楽の「本質」に迫る学びの目的には、何ら変わりはない



アナログ＆デジタル楽器・ツールによる
学びの選択肢の拡大



演奏記録のフィードバック
言語活動の促進

音楽をより
学びやすく
する

１人１台端末を用いた
個別最適な学びの促進

デジタルコンテンツを活かした
学習の効率化

どんな子も幸せにするこれからの音楽授業
～デジタル活用の視点から～

Part 2

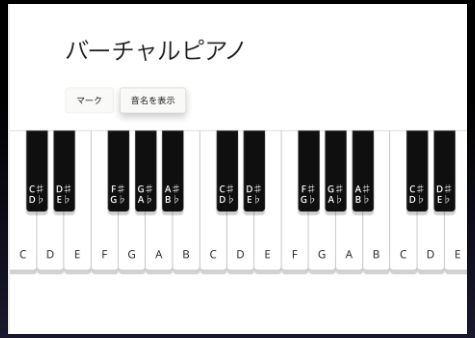
バーチャル楽器で
どこでもお手軽演奏

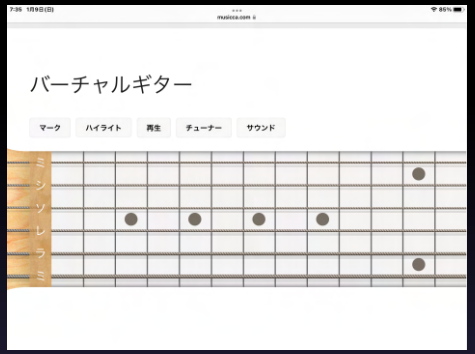
～タブレット端末が楽器に変身！吹くの禁止、数が足りないも何とかする～

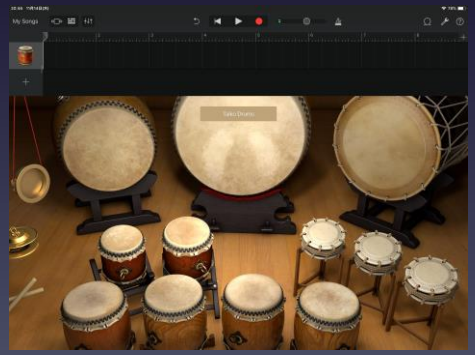
バーチャル楽器でどこでもお手軽演奏

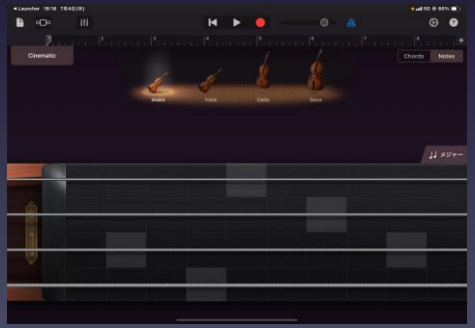
実践紹介①「Webバーチャル楽器アプリ」の活用

バーチャル楽器でどこでもお手軽演奏









バーチャル楽器でどこでもお手軽演奏

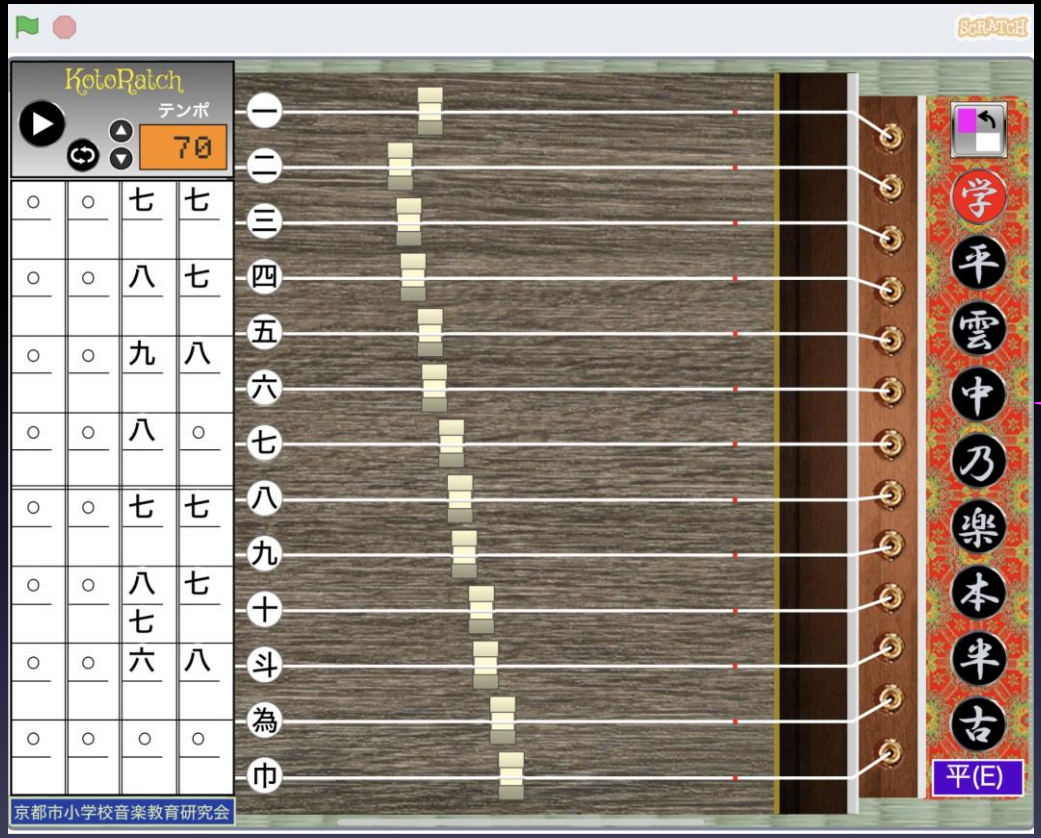
学校で習った楽器をおうちでも演奏してみたい

児童生徒全員分の楽器を用意できない

感染症流行等で吹奏楽器が演奏できない

バーチャル楽器で代用、補填

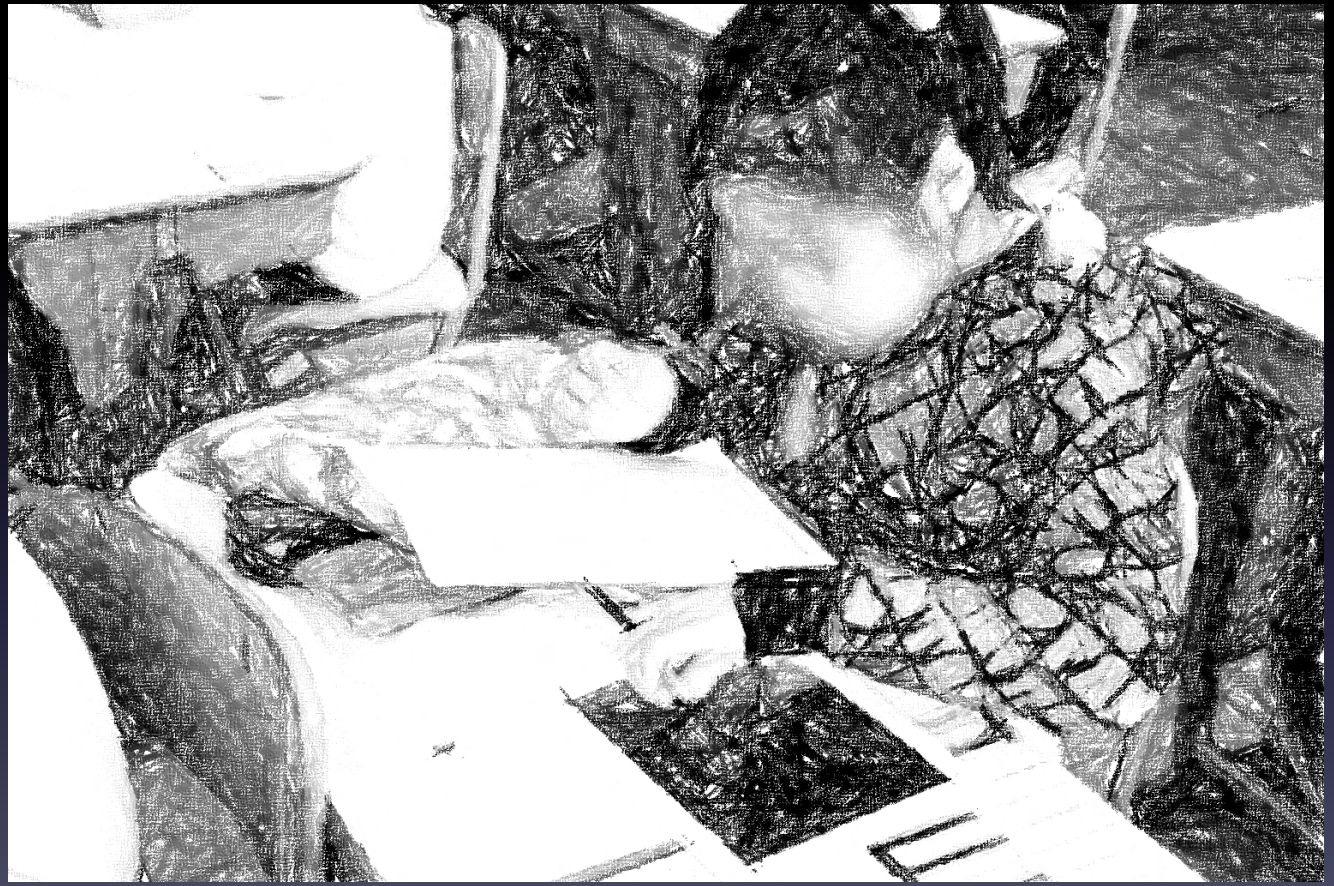
楽器としての活用
「バーチャル箏アプリ」



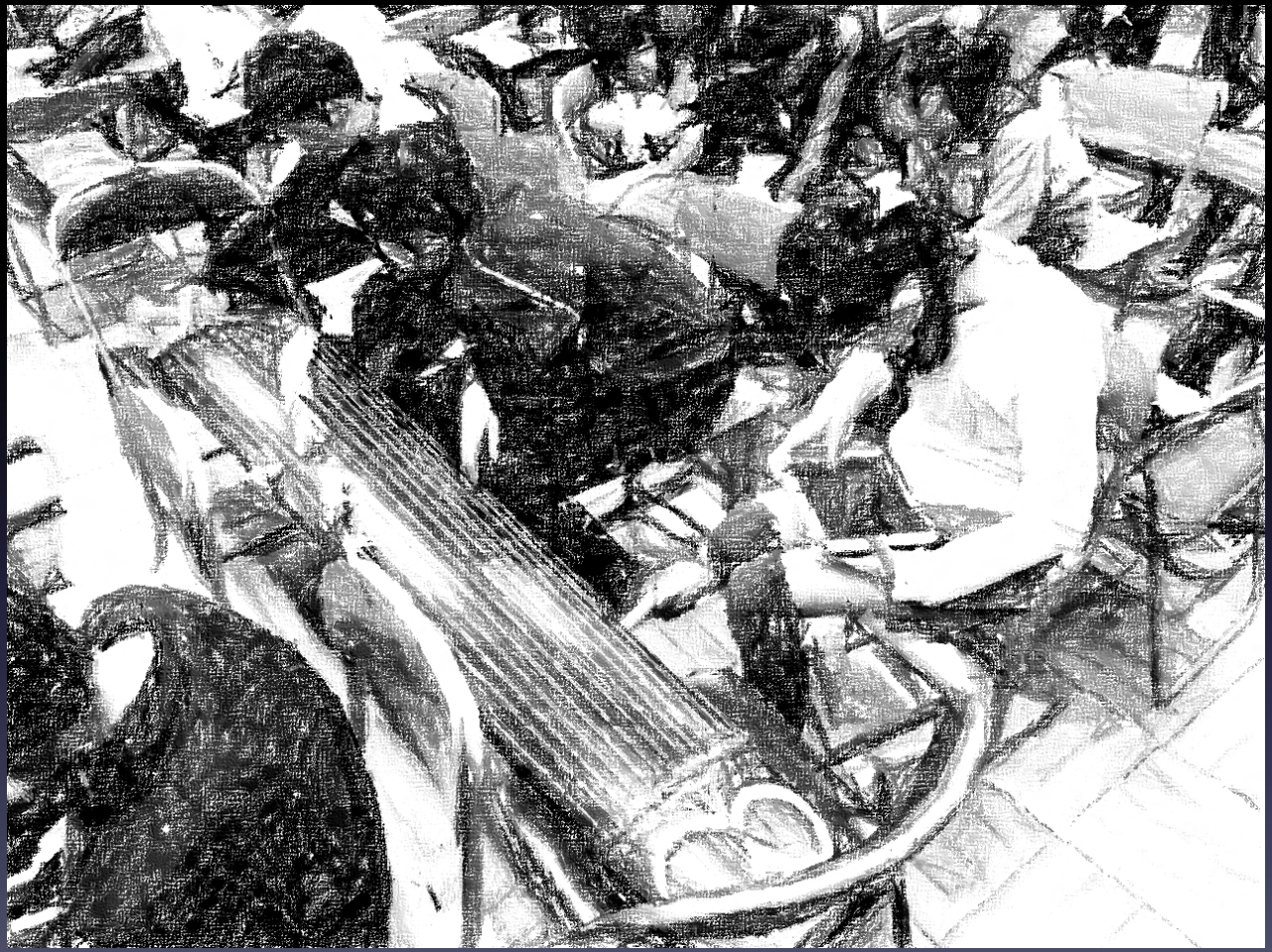
箏体験の
事前練習に

「KotoRatch」（京都市小学校音楽教育研究会）
https://scratch.mit.edu/projects/557463564/embed
（オンラインなのでどの端末でも使用可能￥無）

「KotoRatch」を使い
「さくらさくら」を弾いてみる。



待ち時間は、タブレットのアプリで
事前に練習できる。



どんな子も幸せにするこれからの音楽授業
～デジタル活用の視点から～

Part 2

学習者の演奏技能に依存しない音楽創作活動の実現

～技能にとらわれず、音楽創作の楽しさ面白さを味わうために～

学習者の演奏技能に依存しない音楽創作活動の実現

実践紹介②

「教科書準拠教材Webコンテンツ」の活用

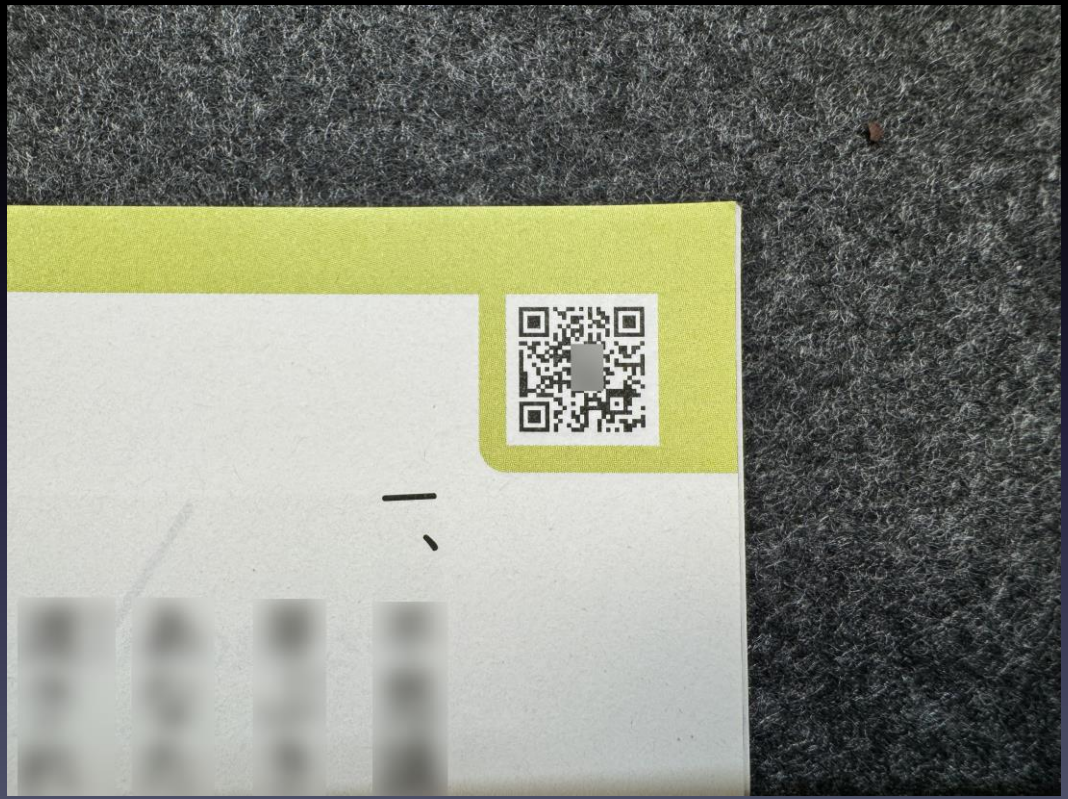
学習者の演奏技能に依存しない音楽創作活動の実現

小学校音楽教科書が刷新され、ＩＣＴ活用が更に身近に

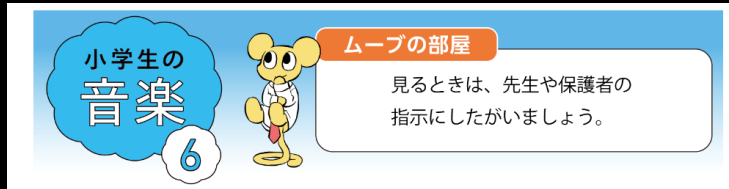
①紙面の各教材にＱＲコードを配置→音源の聴取が可能に
②指導者用デジタル教科書が「フルセット付録」化
③学習者用教材Webコンテンツの無償化

「教科書準拠教材Webコンテンツ」の活用

紙面の各教材にＱＲコードを配置→コンテンツにリンク



「教科書準拠教材Webコンテンツ」の活用

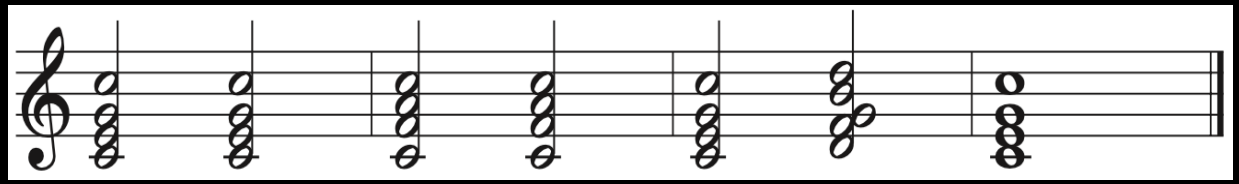


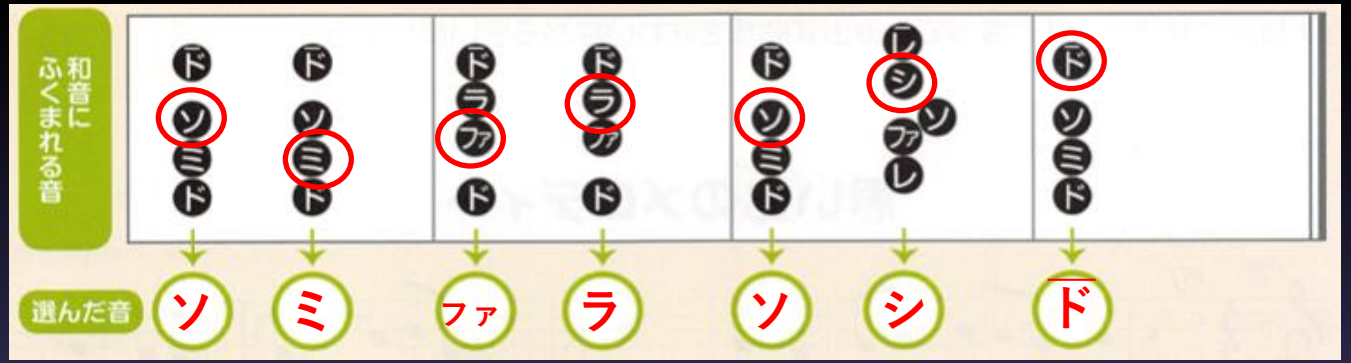
本サイトのコンテンツは、当該の検定教科書を学校内での授業や自宅等での個人学習で使用する際の教材に関する参考情報として株式会社教育芸術社が用意したものです。この範囲外での利用はご遠慮ください。

もくじ

8ページ「つばさをください」
10ページ「ペガサス」
14ページ「おぼろ月夜」、高野辰之について、岡野貞一について
16ページ「木星」、ホルストについて
18ページ「ラバーズ コンチェルト」
22ページ「ボイスアンサンブル」
24ページ著作権について知ろう
26ページ「星の世界」
28ページ「雨のうた」、イ短調の和音
30ページ「雨のうた」の和音で旋律づくり
32ページ「思い出のメロディー」
34ページ「ハンガリー舞曲第５番」、２拍子の指揮の例、ブラームスについて
36ページ滝廉太郎について
40ページ「ふるさと」
44ページ「われは海の子」
46ページ「越天楽今様」

６年「和音の音でせんりつづくり」　～音楽創作ツールを使った学びの充実～

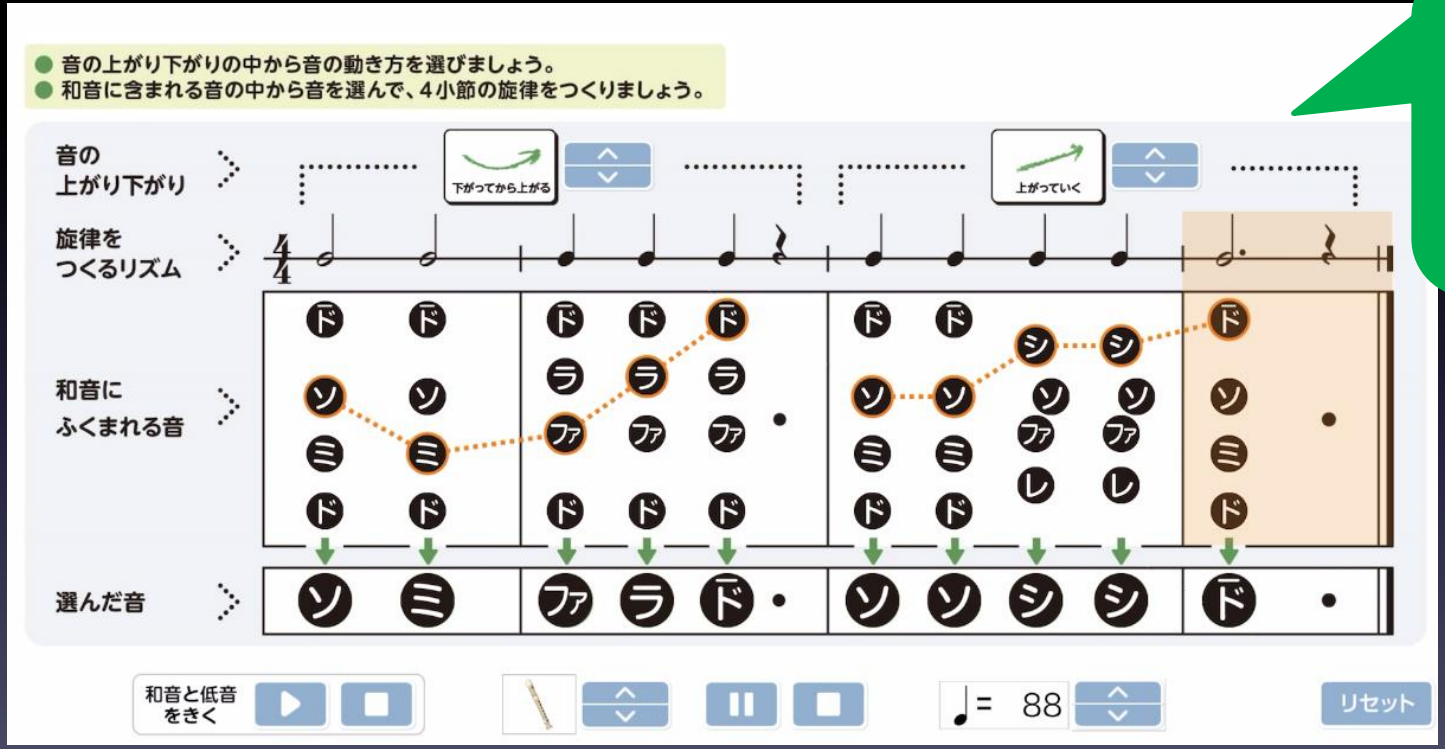




つくった旋律をリコーダーなどの楽器で演奏して楽しむ

楽器を演奏することが苦手な場合、つくることに集中できないことも…

５年「静かにねむれの和音で旋律づくり」～教科書準拠Webコンテンツを使った学びの充実～

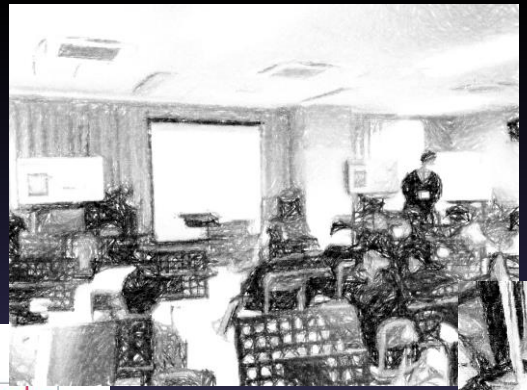


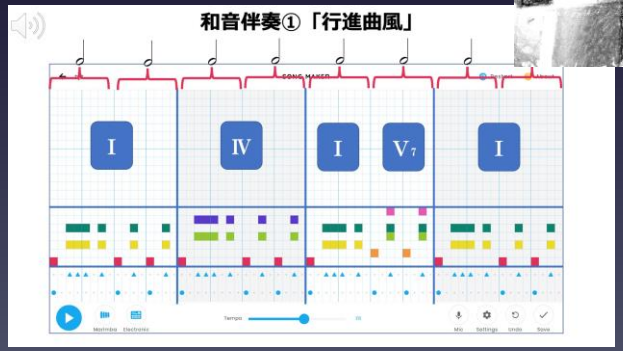
教育芸術社５年「静かにねむれ」の和音の構成音を選んで旋律をつくる課題

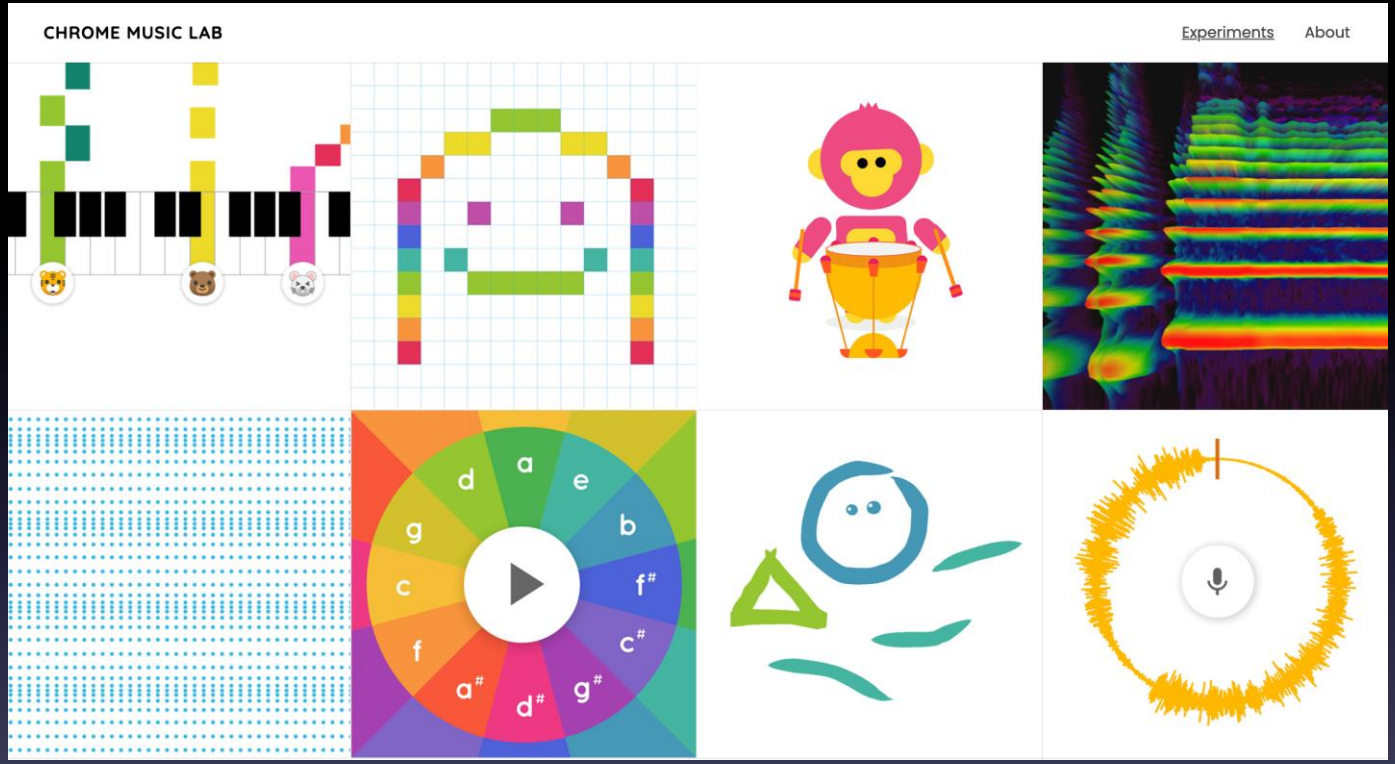
学習者の演奏技能に依存しない音楽創作活動の実現

実践紹介②

「SongMaker（Google）」の活用





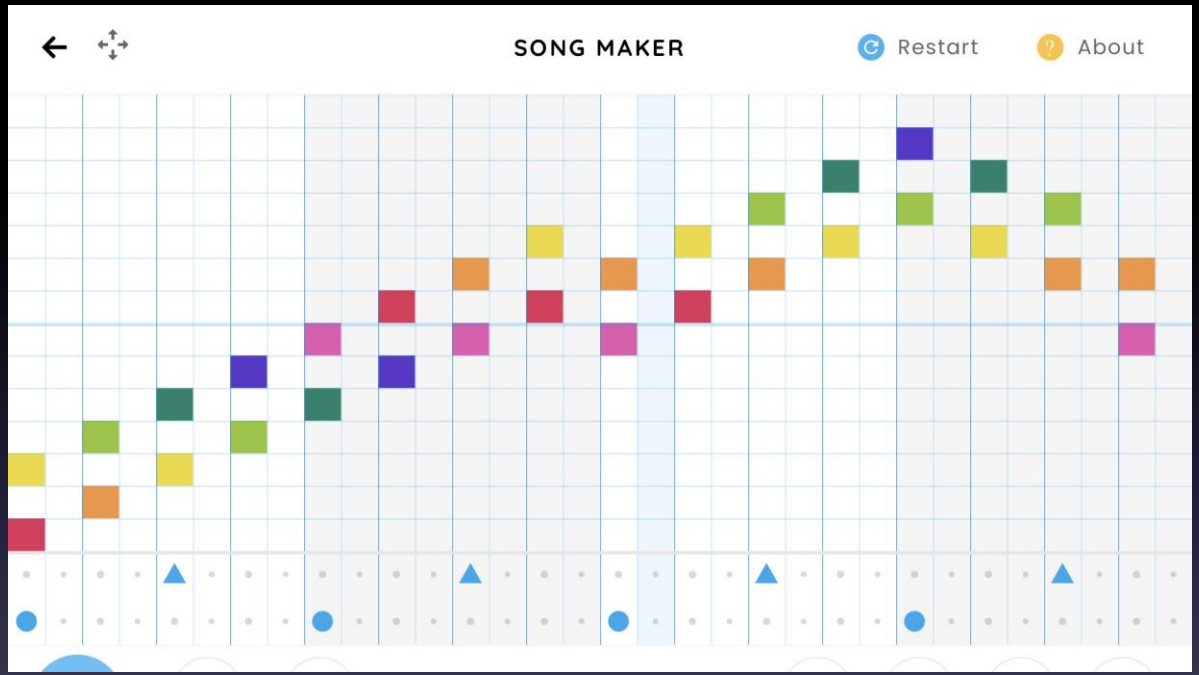


「Chrome Music Lab」

https://musiclab.chromeexperiments.com/

（オンラインなのでどの端末でも使用可能￥無）

音楽づくりのツールとしての活用
「ソングメーカー」

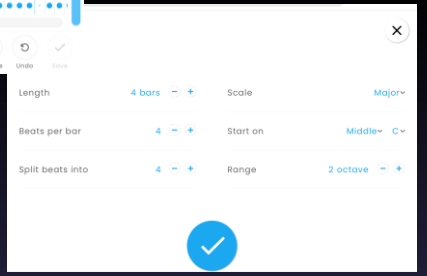


「Song Maker」

https://musiclab.chromeexperiments.com/Song-Maker/

（オンラインなのでどの端末でも使用可能￥無）

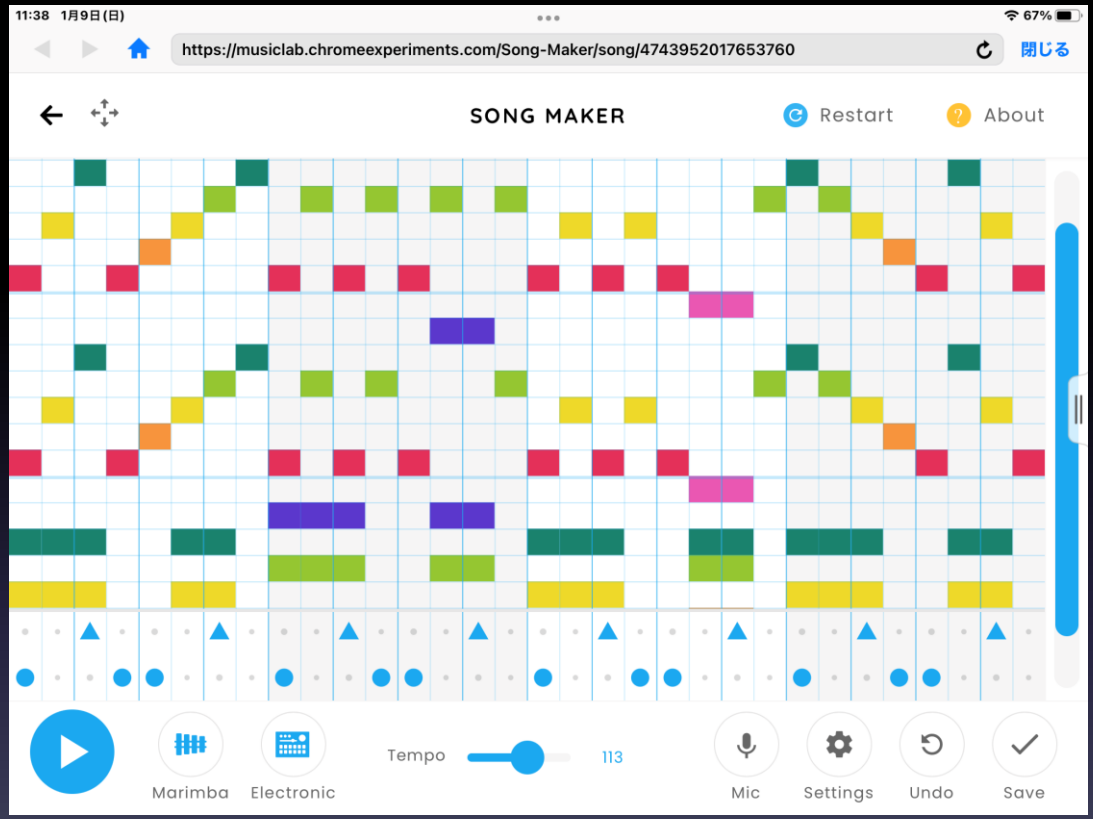
Song Maker（ソングメーカー）の主な機能



＜旋律作成機能＞
・小節追加（最大１６小節）
・オクターブ追加（最大３オクターブ）
・拍子変更（２，３，４，５，６，７拍子）
・音階変更（長音階、五音音階、半音階）
・拍分割（最大４分割）
・マイクによるリアルタイム入力
＜再生機能＞
・速度調節（４０～２４０）
・音色変更（マリンバ、ピアノ、ストリングス、シンセ）
・ビード音色変更（ウッドブロック、大太鼓＆小太鼓、コンガ）
＜保存機能＞
・作品をリンク、ソースコード、MIDI、WAVで出力可能

音の高さ

色…音階



拍

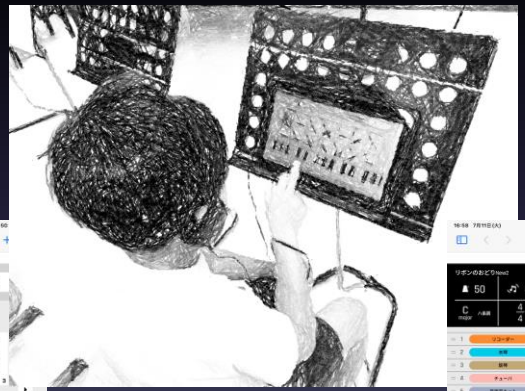
反復

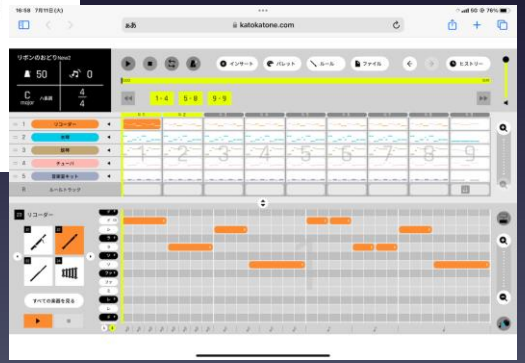
リズム

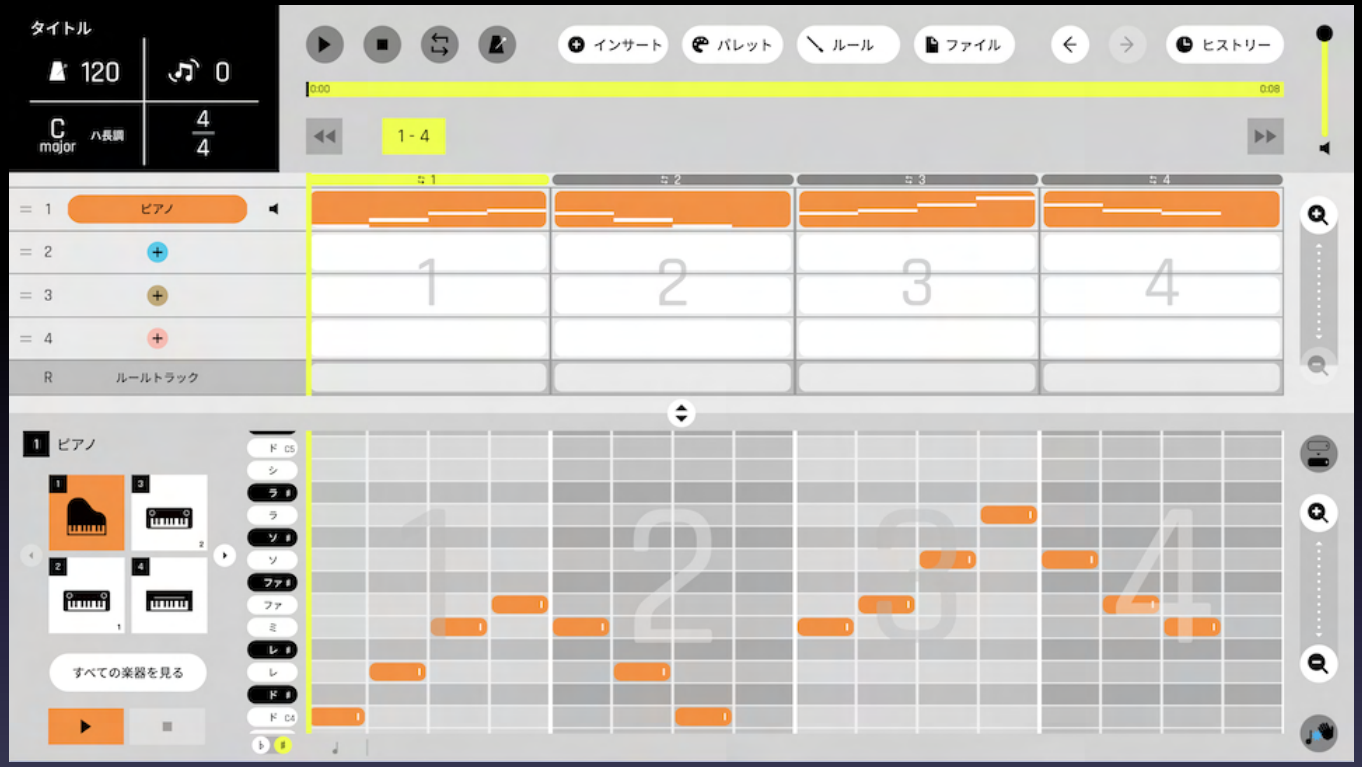
時 間

学習者の演奏技能に依存しない音楽創作活動の実現

実践紹介③ 「カトカトーン」（教育芸術社）の活用







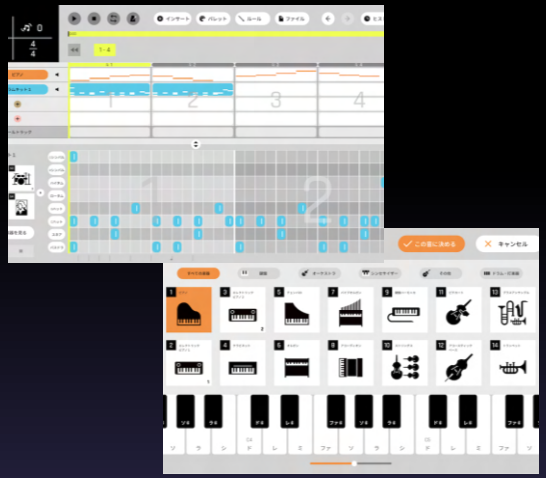
Web作曲アプリ「カトカトーン」（教育芸術社）

※カトカ…おたまじゃくしの古語「蝌蚪」（かと）をモチーフにした造語

（オンラインなのでどの端末でも使用可能＆無料）

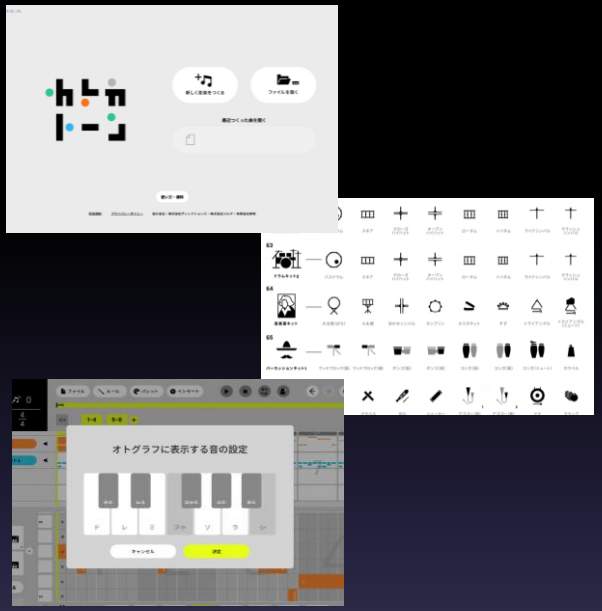
「カトカトーン」何がすごい？？

- 「SongMaker」「GarageBand」などの従来の音楽創作アプリの弱点を研究、克服している。
- 日本の学校教育や音楽授業の実態を把握した、教科書会社が制作している。
- どの端末でも利用できる「Webアプリ」であり、初期登録のみで「無料」で使用できる。
- 電子楽器メーカー「KORG」がアプリの開発を担い、音源のクオリティが高い。
- 利用者のフィードバックによって成長していくアプリである。



カトカトーンの主な機能

＜楽器演奏機能＞
・６１の旋律音源、８０の打楽器音源から選択
・楽器アプリとして鍵盤上で演奏できる
＜曲作成機能＞
・小節追加…小節数は無限
・音域…７オクターブ
・拍子変更…１，２，３，４，５，６拍子
・調性変更…全長調、短調（小節ごとにも設定可能）
・拍分割…最大８分割（全音符→16分三連符）
・音選択…五音音階表示、派生音非表示などが可能
・音源を８パートまでミキシング（重複）可能
＜再生機能＞
・速度調節…３０～２１０（小節ごとにも設定可能）
・パート別再生機能
・スイング機能



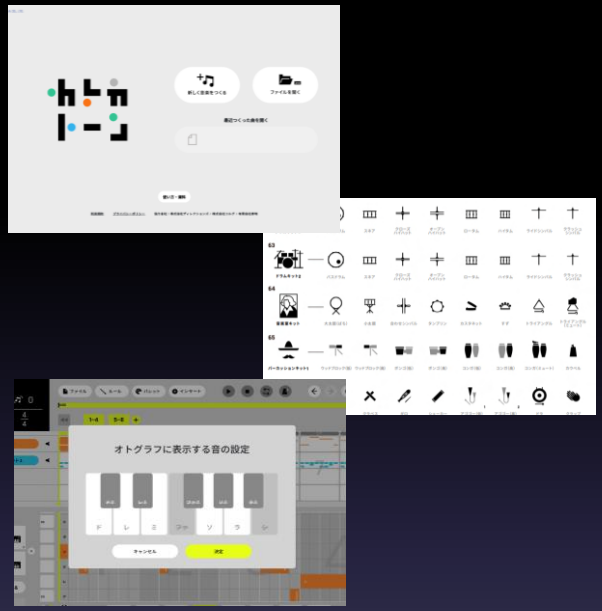
カトカトーンの主な機能

＜ファイル保存機能＞
・端末内にファイルとして保存（拡張子：ktk）
・作成したファイルは端末を越えて実行可能

＜音源書き出し機能＞
・作成した曲を音源（MP3形式）で出力可能

＜楽譜書き出し機能＞
・作成した曲を楽譜（PDF形式）で出力可能

＜ＭＩＤＩファイル書き出し機能＞
・出力したMIDIファイルを他のアプリで利用できる



どんな子も幸せにするこれからの音楽授業
～デジタル活用の視点から～

Part 3

学習者のニーズに応じた音楽鑑賞活動の実現

～主体的に音楽を聴き、感じ取り方の多様性から学ぶ～

学習者のニーズに応じた音楽鑑賞活動の実現

従来の一般的な鑑賞の授業形態（一斉型）における問題点

①時間的、空間的な制約から、一斉に鑑賞活動をしながら話し合う活動は難しい（話し声で音楽が聴きづらくなる）

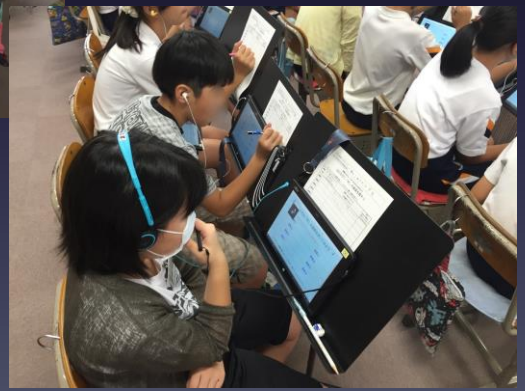
②一斉に音楽を聴くため、個人のペースで思考のために音楽を止めたり、気に入った部分や、よく聴いてみたいところを繰り返して聴いたりすることができない。

③演奏時間が長い楽曲や、いくつもの曲を聴きながら思考する活動がしづらい。

④「言語活動」が中心で受動的な授業に陥りやすい。

学習者のニーズに応じた音楽鑑賞活動の実現

実践紹介④ 教材曲の様々な演奏の比較鑑賞（木星）



学習者のニーズに応じた音楽鑑賞活動の実現

今日の学習のめあて

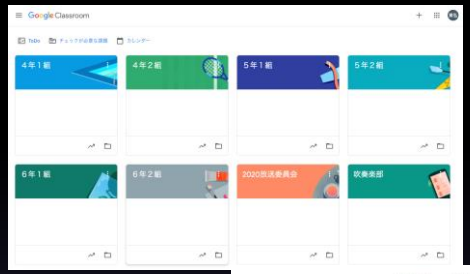
色々な木星の中間部の演奏の中から一番心にひびく演奏を見つけ、なぜそう感じたかを考えよう

いろいろな、メロディー「M」の演奏をきこう

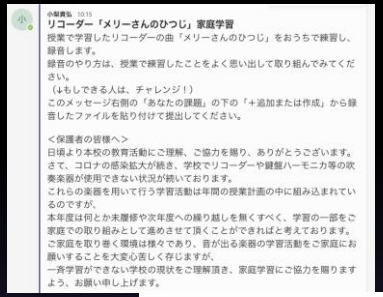
①歌声（女声）	②ピアノ（２台）	③弦楽合奏	④金管合奏
⑤オルゴール	⑥パイプオルガン	⑦篳篥（ひちりき）	⑧バイオリン

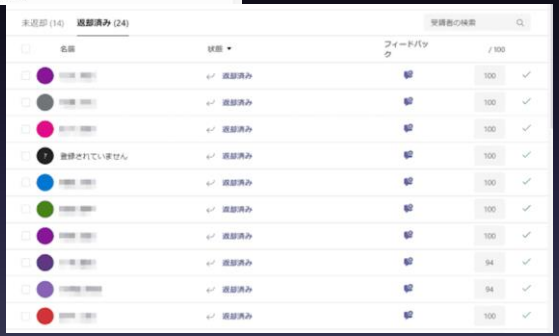
様々な楽器（声）のためにアレンジされた８つの木星を聴き、自分の心に響いた演奏を一つ探し出す

活用アプリ・Webサービス　LMS（Learning Management System）



「Classroom」
(Google)





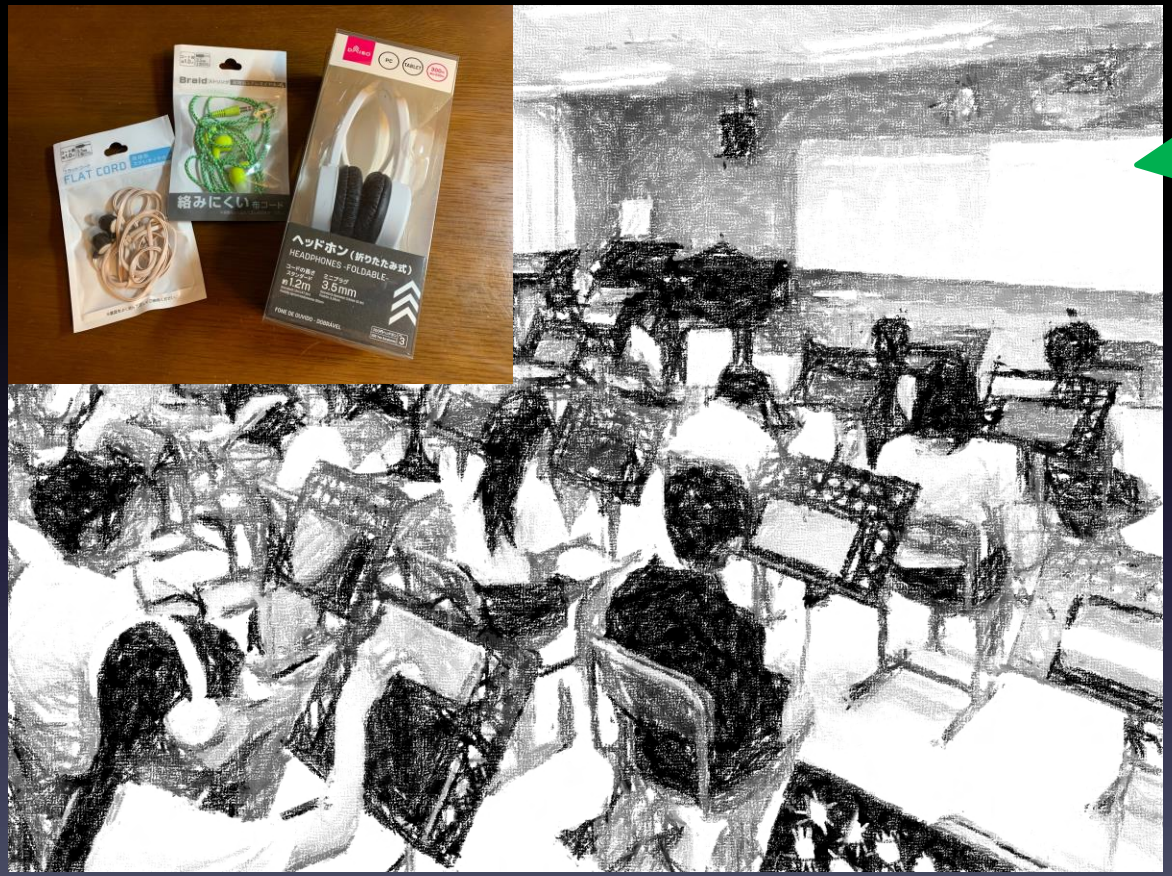
「Teams」
(Microsoft)

ＬＭＳのファイル添付機能を活用する

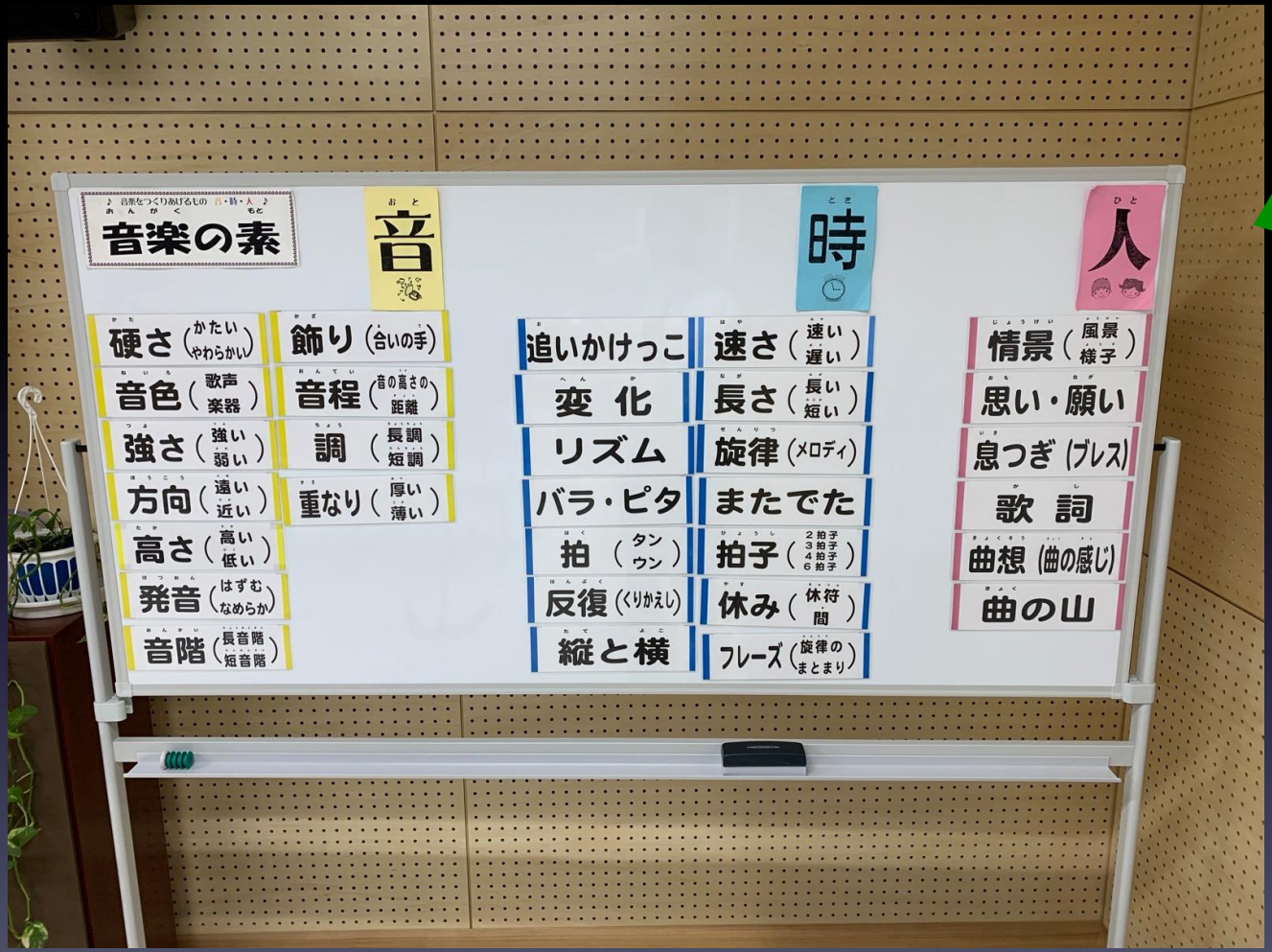
「Classroom」
(Google)

「Teams」
(Microsoft)

様々な楽器（声）のためにアレンジされた８つの「木星」を聴き、自分の心に響いた演奏を一つ探し出す。



様々な楽器（声）のためにアレンジされた８つの「木星」を聴き、自分の心に響いた演奏を一つ探し出す。



選んだ演奏がなぜ心に響いたのか「音楽を形づくる要素」と結びつけ、その要素のどんなところが心に響いたのかを考えてみる。「音色？」「リズム？」「速さ？」

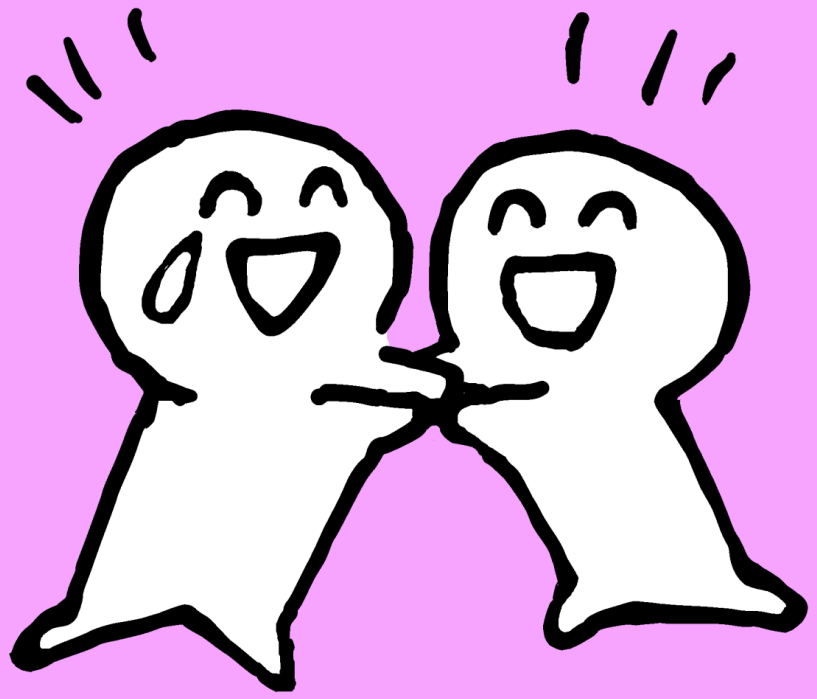
８つの中間部アレンジ聴き取りの様子

１．「M」のいろいろな演奏を聴いて、自分の心に響く演奏を探そう。

演奏の番号	◎…一番心にひびいた（1つ） ○…心にひびいた △…自分には合わないかな	感想・気がついたこと （全部書き入れよう）	（後で） 他の人の意見を聴いて、よくなったら☆をつける。
演奏①			
演奏②			
演奏③			
演奏④			
演奏⑤			
演奏⑥			
演奏⑦			
演奏⑧			

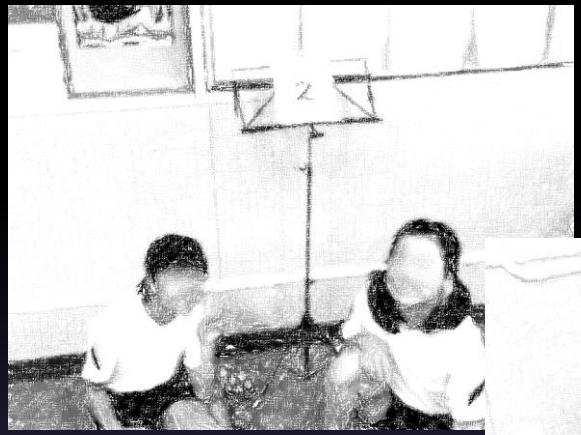
※時間内で全部の演奏を聴いて書けるように、途中で止めてどんどん演奏を聴いていこう。（どれから聴いてもいいです）

だよね~タイム！！

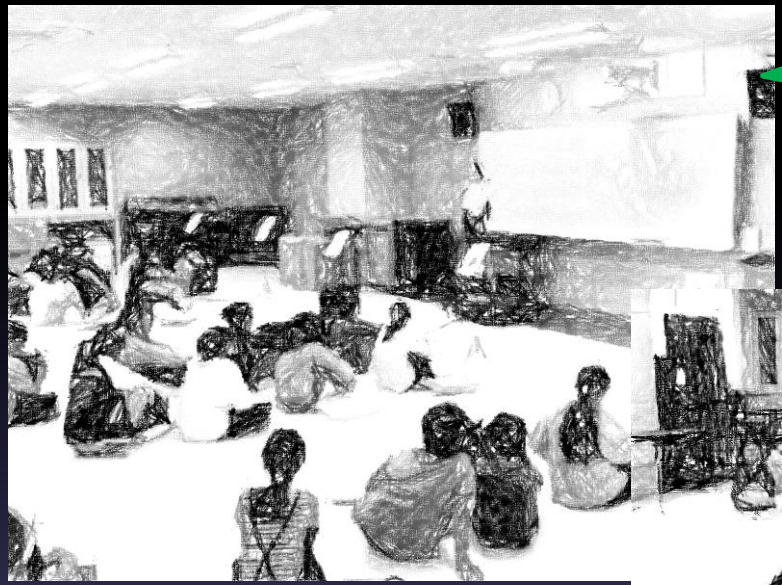


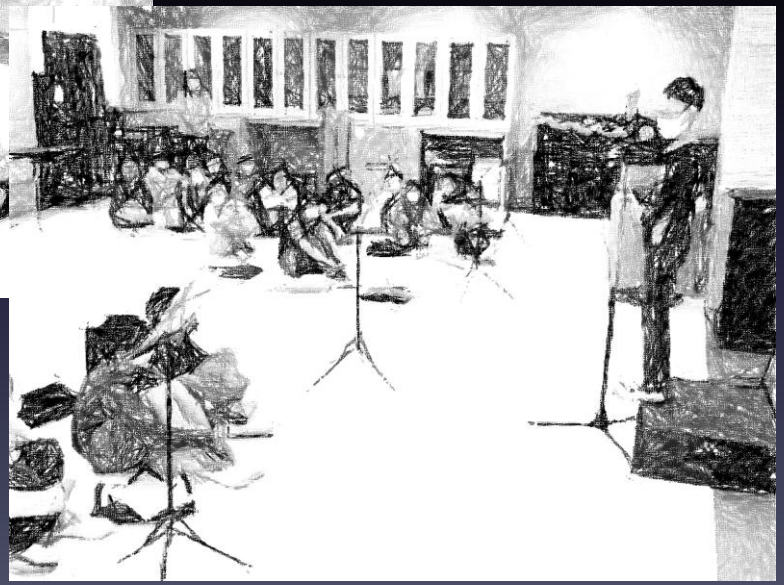
同じ演奏を選んだ人で集まり、なぜ選んだのかを語り合おう

「だよね～タイム」（イメージ）



「コマーシャルタイム」





各曲を選んだ仲間の代表者が全員の前で曲をアピール。スピーチに心を動かされたら、その曲に変更しても可！

どんな子も幸せにするこれからの音楽授業
～デジタル活用の視点から～

Part 5

音楽嫌いを生む「実技テスト」からの脱却

～１人１台端末だからできる、みんな一緒の「ひとり演奏記録」～

音楽嫌いを生む「実技テスト」からの脱却

実践紹介⑤ カメラアプリで普段の演奏を記録する

音楽嫌いを生む「実技テスト」からの脱却

評価のための少人数や人前での演奏は、音楽を嫌いにさせる要因の一つ

みんな一緒なら
恥ずかしくない

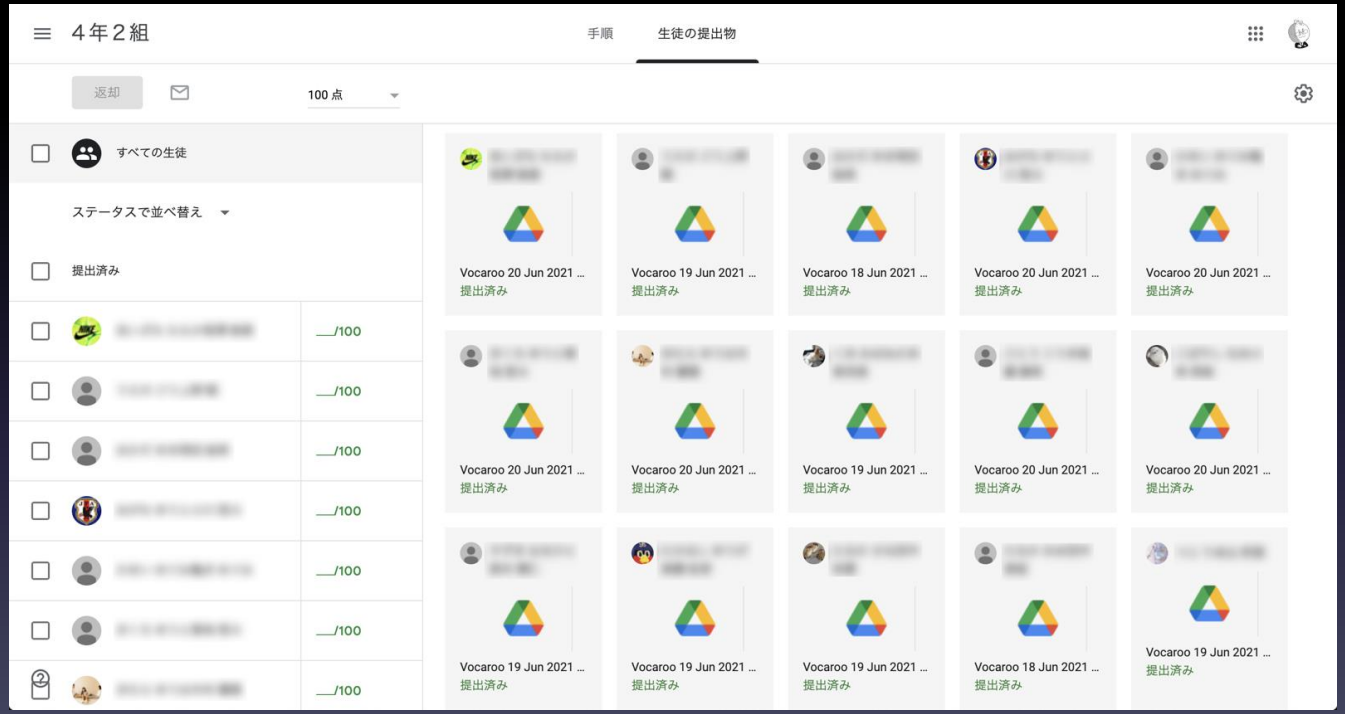
タブレット端末を譜面台等の上に置き、みんなが演奏している中でセルフ撮影をする

「カメラ」(iPad)

「カメラ」(Chromebook)

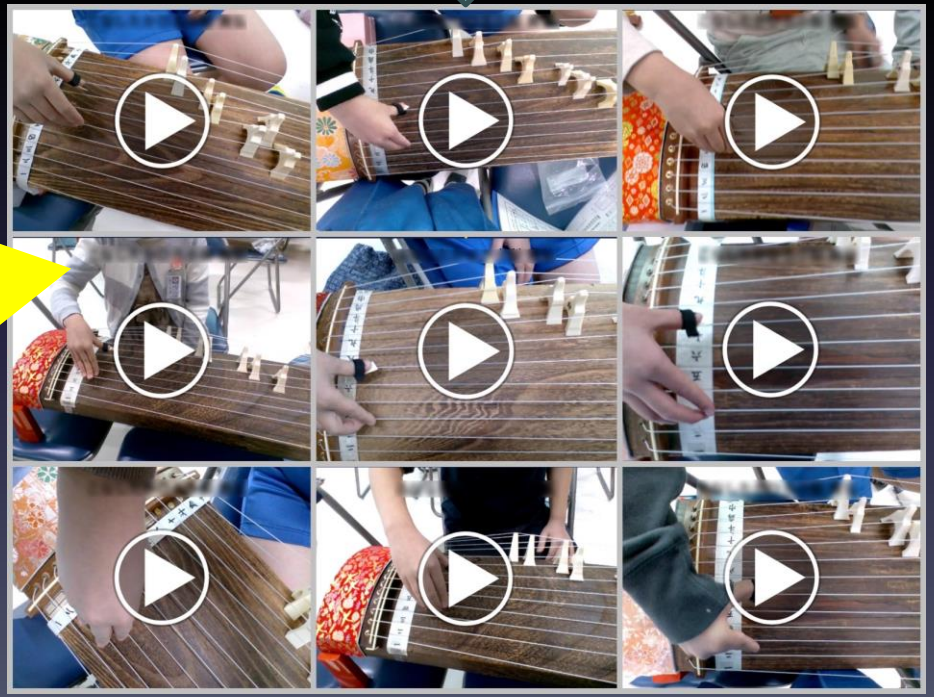
「カメラ」(Windows)

ＬＭＳ（Classroom,Teams）等で回収→評価に活用



「Classroom」
(Google)

「Teams」
(Microsoft)

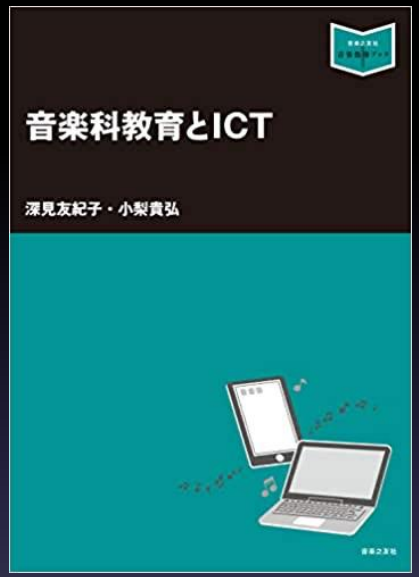


ポートフォリオ化し互いの演奏にアドバイスを掛け合う等の活動にも利用できる

「ロイロノート」
(LoiLo Inc.)

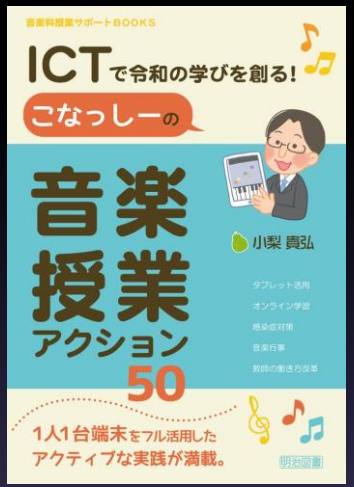
「ミライシード」
(Benesse)

小梨著作書籍のご紹介



音楽科教育とＩＣＴ
（音楽之友社）

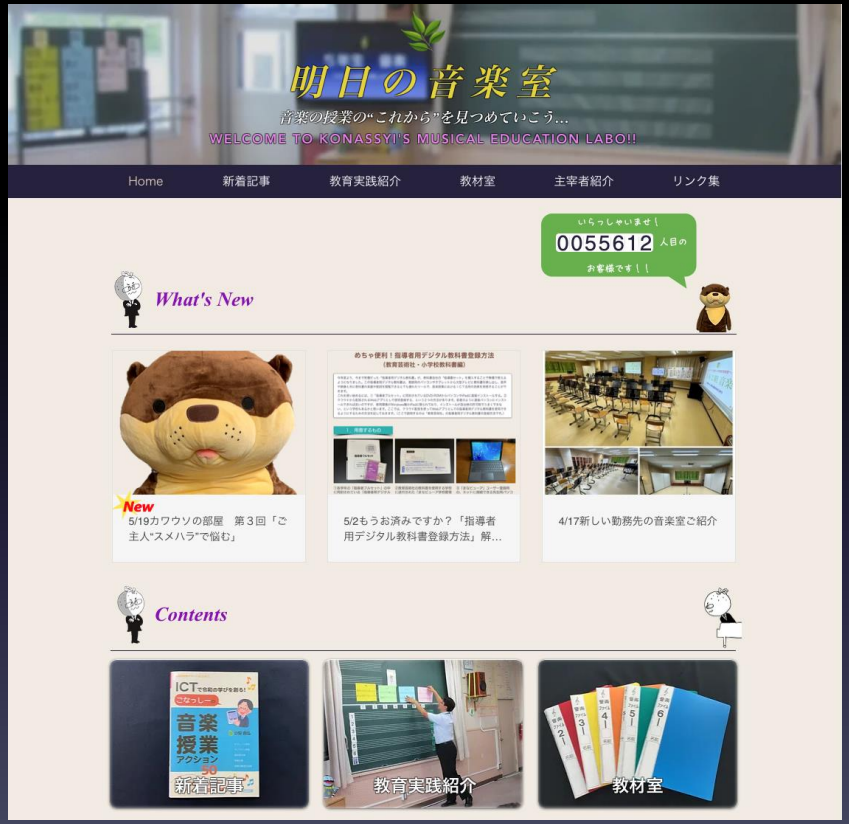
こなっしーの
音楽授業をステキにする
100のアイデア
（明治図書）



こなっしーの
音楽授業
アクション50
（明治図書）

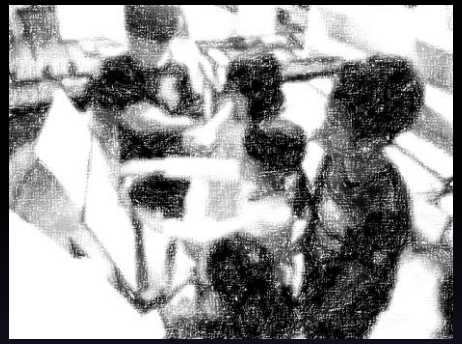
音楽×
アプリ×
授業アイデア100
（明治図書）

ご紹介　小梨主宰音楽授業情報サイト「明日の音楽室」



https://ashitano-ongakushitsu.com

「明日の音楽室」でできること



授業や行事実践の紹介

教材ファイルのダウンロード

音楽教育関連サイトへのリンク

ネット上の優良コンテンツ紹介